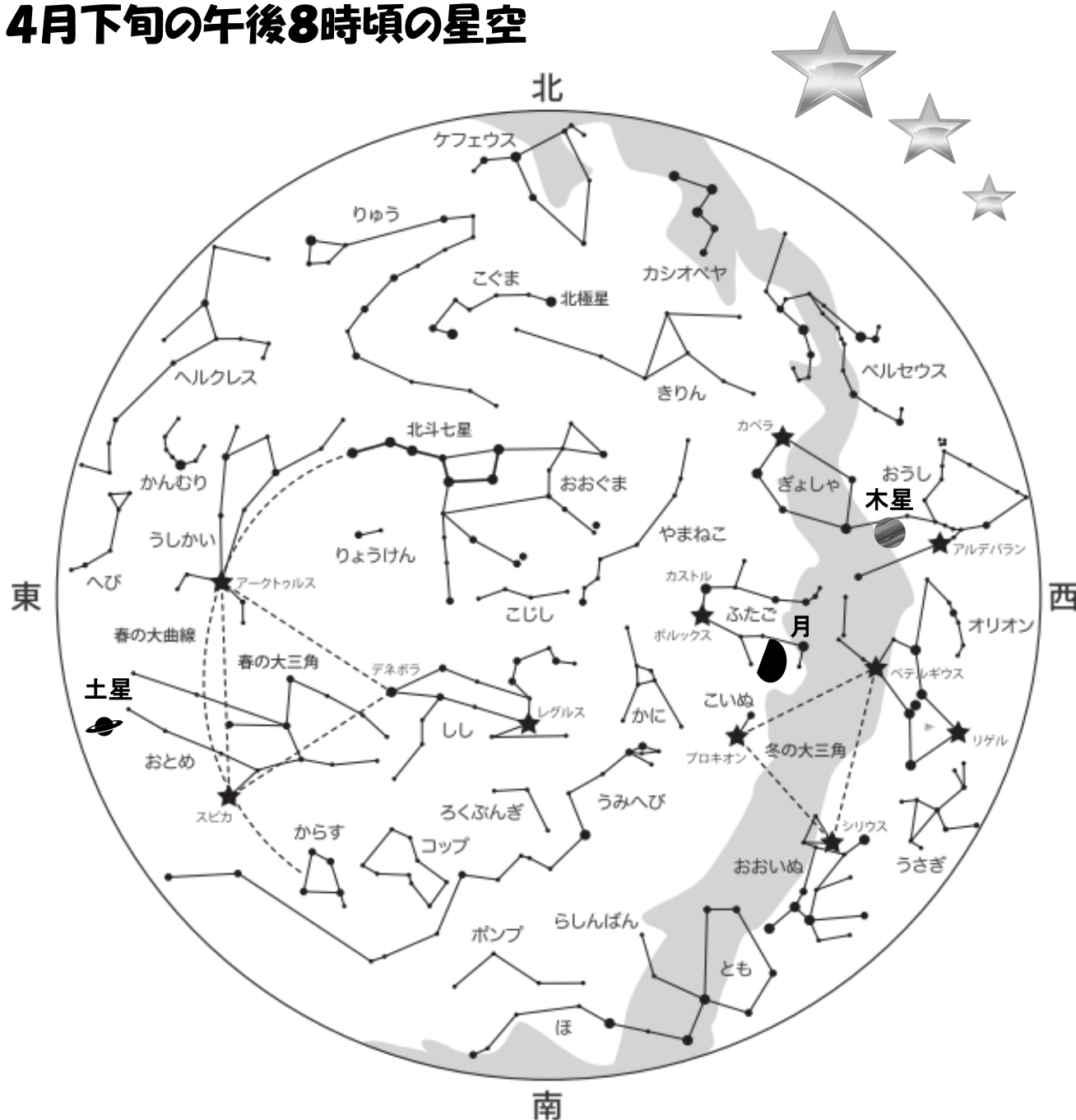


# 松江市立天文台 ~4月の天文教室~

2013年4月17日

春分の日からひと月が経過すると、日没も遅くなってきたのが実感できますね。冬の間私たちを楽しませてくれた木星が、冬の星座を引き連れて沈んでゆき、北斗七星やしし座など春の星達が主役になってきました。

## 4月下旬の午後8時頃の星空



4月下旬の午後8時頃の星空です。月や木星は4月17日の位置を表示しています。実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見ます。



## ★今夜の月

今夜の月は月齢7で、おうし座に位置しています。  
明日(18日)が上弦(半月)、26日に満月になります。  
月は太陽の光を反射して輝いていますが、横から光の当たるこの頃は、クレーターが作り出す陰影がとてもきれいです。

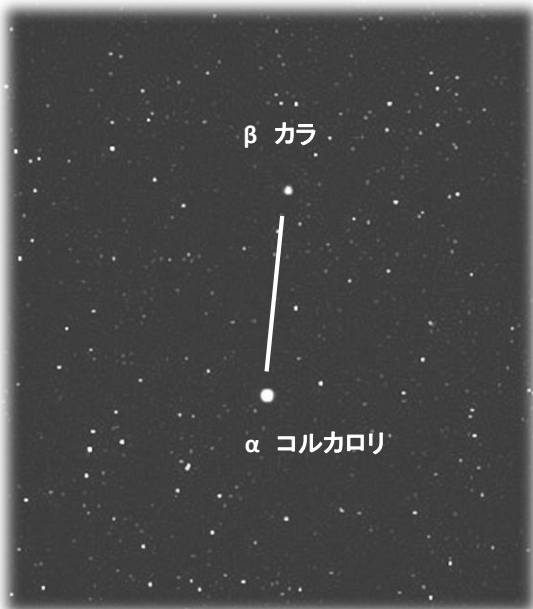
## ★今夜の木星

太陽系最大の惑星である木星は小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や4大衛星(ガリレオ衛星)を楽しめます。衛星は4月17日午後8時30分頃の位置関係を表示しています。



※月も木星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

## ★りょうけん座



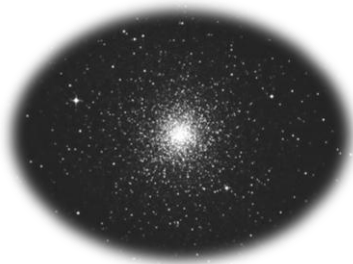
りょうけん座は、春半ばから初夏にかけての夜空に見られる星座で、星図絵には、うしかい座の紐につながれた、北側がアステリオン、南側がカラという名前の2匹の猟犬として描かれますが、神話は残されていません。

α (アルファ) 星のコルカロリは、ラテン語で「チャールズの心臓」という、ちょっと変わった名前が付けられています。

α 星を天体望遠鏡で見ると、2.9等と5.4等の星に分かれる二重星です。

一方、β (ベータ) 星のカラは「かわいい犬」という意味

### M3 球状星団



M(メシエ)3は、りょうけん座とうしかい座の境界付近にある、球状星団です。小型の天体望遠鏡では丸い雲のように見えます。

48,500光年の距離にあり、直径は330光年の大きさがあると言われています。(数値はアストロアーツのHPより引用)

次回の天文教室は  
5月15日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会